



昭和初期(1930年頃)の日本精工本社・本社工場

NSKは、1916年に日本で最初のベアリング(軸受)メーカーとして当時の東京府下 荏原郡大崎町(現在の本社所在地である東京都品川区大崎)に設立されました。以来、100年以上にわたり革新的な技術開発に挑戦し、世の中のエネルギーロスの低減に貢献するとともに海外事業の拡大を通じ、世界の産業の発展を支えてきました。時代は変わっても、一貫して変わらないのは成長を支えてきた「製品や技術を通じて社会に貢献する」という姿勢です。

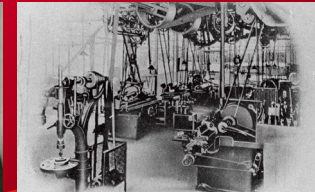
1916年

全てはここから始まった「NSK創業の精神」 — 創業者 山口 武彦の想い —

NSKの創業者である山口武彦は、技術調査のために訪問した欧米で日本の機械工業との技術水準の差を痛感し、外国製の機械、技術を導入することで日本の精密機械工業の発展に尽くすことを決意しました。1914年に精密機械部品の国産化を目指し「日本精工合資会社」を立ち上げ、優れた機械技術を有していた技師を数人招聘し研究開発を始めました。ベアリングを製造するための専用機械など一つもない時代に、手元にあった汎用機を駆使したり、文献などの情報をもとに装置を独自開発するなど、試行錯誤を繰り返しました。そして、翌1915年にベアリングの試作品が完成し、1916年に量産を開始し、「日本精工株式会社」を創立しました。設立後も材料の品質改善を図るために、鉄鋼メーカーと共同研究を行い、国産化を図ったり、様々な形状のベアリングをつくらうと試み、創業2年後には187型番のベアリングの生産を可能にしました。こうした未開拓のベアリング工業確立のために注がれた想いこそ、「NSK創業の精神」である「フロンティア精神」です。



山口武彦氏



1921年頃の本社工場(研磨ライン)

●「フロンティア精神」が表れたNSKの出来事

1958年

業界初 米国市場への進出

1950年代後半は、米国が世界の自動車産業の中核であり、日本市場と比べて約10倍のベアリング需要がありました。当時の米国市場は、海外の世界有数のベアリングメーカーがしのぎを削っており、日本メーカーにとって、米国市場への進出は宿願でした。そうした中、1958年に、NSKは米国のベアリングメーカーであるフーバー社と15年間の長期輸出販売契約・技術提携契約を交わし、市場に参入しました。その後、日本のベ

時代に応じ表現を変えながらも、
「NSK創業の精神」は受け継がれている

1991年

NSKの企業理念

MOTION & CONTROL™

NSKは、MOTION & CONTROL™を通じ、
円滑で安全な社会に貢献し、
地球環境の保全をめざすとともに、
グローバルな活動によって、
国を越えた人と人の結びつきを強めます。

1958年

日本初 ボールねじ式ステアリングギアの
開発と量産

1950年代半ばからステアリングギアの開発に取り組み、1958年に自動車向けボールねじ式ステアリングギアの試作・量産化に成功しました。これは日本初、世界では米国自動車メーカーに続き2番目でした。また、この技術を応用し、1959年には工作機械向けの精密ボールねじを日本で初めて開発。それ以降、ボールねじは工作機械の主要な駆動部品として不可欠な存在になっています。

アリングメーカー各社はNSKと同様に現地軸受メーカーと輸出契約を結びました。以降、グローバルに拠点を展開し、最適地生産を推進しています。



米国・フーパー社との契約調印

1999年

世界初 ハーフトロイダルCVT(無段変速機)の開発

自動車の高効率化という重要課題に対して、ギアを使用しない無段変速機の開発に1970年代後半から取り組みました。高温・高圧の過酷な環境下での金属の接触摩擦を防ぎつつ動力を伝える潤滑油や亀裂の原因となる不純物を取り除いた最高純度の鋼材の開発など、一つひとつ壁を乗り越え、世界初となるハーフトロイダルCVTの実用化に成功しました。現在は、航空機用発電機などでの採用、検討が進んでいます。



ハーフトロイダルCVT(無段変速機)

2019年

新領域 食用油劣化抑制フィルターの開発

NSKは、新たな分野で、未知の製品の開発に取り組んでいます。例えば、これまで接点の少なかった分野のお客様にヒアリングをして、ニーズを探索し開発したのが、食用油劣化抑制フィルターです。NSKで普段使われている潤滑油の酸化劣化を防ぐ技術を活かして、新しいものを生み出せないかという社員の考えがプロジェクトの起点となりました。この開発品により、食品製造工場の作業負担を軽減することができ、また油の劣化抑制によって地球環境への貢献も期待することができます。



食用油劣化抑制フィルター

2016年

NSKビジョン2026

あたらしい動きをつくる。

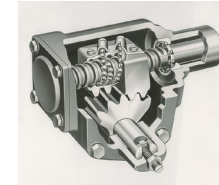
あらたなライフスタイルを生み出し、笑顔あふれる明日を実現するための、次の「動き」をつくる。

社会のニーズをいち早く発掘し、世界中の期待を超える、誰も想像できなかった「動き」をカタチにする。

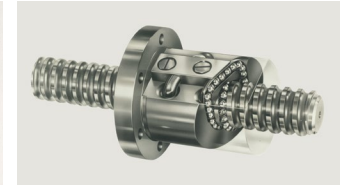
私たちが未来を動かしていく。

MTP2026

トライボロジーとデジタルの融合による価値創出で持続可能な社会の発展に貢献し、社会から必要・信頼される企業を目指す



ボールねじ式ステアリングギア



工作機械用ボールねじ

2021年

世界初 転がり軸受用

「バイオプラスチック保持器」の開発

世界で初めて、100%植物由来のプラスチック(バイオマスプラスチック)を使った保持器を開発しました。これまで100年以上にわたり培ってきたNSKのノウハウを活かし、材料の面からも環境に貢献するという新たな視点で生み出したこの製品には、フロンティア精神が表れています。カーボンニュートラルの実現に向けて、バイオマスプラスチックを使ったボールねじ用保持ピースなど、環境にやさしい製品の開発を今後も進めていきます。



バイオマスプラスチック保持器



バイオマスプラスチック保持ピース NSK S1™

Post 2026

100年、1000年先も選ばれ続ける